

平成21年度公認普及員認定講習会要項

1. 趣 旨 本、(財)日本テニス協会公認普及員認定講習会は(財)日本体育協会公認指導者資格認定事業の一環として開催する。
2. 主 催 (財)日本テニス協会
3. 主 管 関東テニス協会 (ホームページ <http://www.tennis.or.jp/Jta/chiiki/kanto>)
4. 期 日 平成21年9月 6日(日) 9:00~19:00 講義、筆記テスト(日本大学芸術学部校舎)
9月12日(土) 9:00~19:00 実技、指導実習(以下アポロコースト)
9月13日(日) 9:00~19:00 実技、指導実習
9月14日(月) 9:00~18:00 実技、指導実習・基礎実技検定、指導実習検定
※講習内容はあくまでも予定です。変更になる場合がありますのでご了承下さい。
5. 会 場 1. アポロコーストテニスクラブ(インドアコートを使用する予定です) 砂入り人口芝
千葉県長生郡白子町中里5357-1 TEL 0475-33-4051
2. 日本大学芸術学部校舎 講義室
埼玉県所沢市中富町4-14-1 TEL 042-993-2201
6. 宿 舎 サニーインむかい 直接宿舎にお申し込み下さい(基本的に相部屋となります)
千葉県長生郡白子町中里4369 TEL 0475-33-2133
9,300円(1泊3食)税、サービス料含む
7. 受講資格 下記条件を満たしている者。
①受講年度4月1日満19歳以上の者。
②(財)日本テニス協会、または各都道府県テニス協会に所属し、認められた者。
③ITN自己査定でレート6以上の方。(裏面を参考にして下さい)
8. 募集人員 100名 参加者多数の場合は、各都県テニス協会推薦順位により選考します。
9. 受講料 18,000円 (認定登録料12,000円は別途3年間)
10. 申込方法

①申込書 ②返信用封筒(1人1通。定形サイズの封筒に80円切手を貼り、宛先を書いたもの。)

11. 申込み先 上記①②を締切日までに、下記都県テニス協会へ郵送して下さい。

東京都テニス協会	〒166-0002	杉並区高円寺北3-22-3	デルコホームズ4F
神奈川県テニス協会	〒230-0051	横浜市鶴見区鶴見中央1-18-2	井上スポーツ内
千葉県テニス協会	〒270-1435	千葉県白井市清水口2-1-16-1	
埼玉県テニス協会	〒330-0042	さいたま市浦和区木崎2-29-15	
群馬県テニス協会	〒371-0014	前橋市朝日町2-11-14	
茨城県テニス協会	〒310-0803	水戸市城南3-9-32	ロマーヌ水戸第3 101号
山梨県テニス協会	〒400-0822	山梨県甲府市里吉1-9-8	
栃木県テニス協会	〒320-0065	宇都宮市駒生町1632-1	
12. 申込締切日 平成21年7月10日(金)
13. 講習内容 ●テニス実技講習・指導実習 ●テニス理論・ルール●筆記テスト ●実技・指導検定
14. 持ち物 ①筆記用具 ②テニス用具一式 ③ルールブック2009年度版(1500円)
④新版テニス指導教本(3500円)
③・④は、受講決定後、詳細のご案内をお送りする際に注文をとりまします。早目に取り寄せたい方は、日本テニス協会のホームページから個人で購入することも出来ます。
す。 <http://www.Jta-tennis.or.jp/>
15. その他 ①詳細は締切後、受講決定した方に郵送で連絡いたします。参加料をお支払い下さい。
②本講習会の試験に合格し、登録を完了した公認普及員は、スポーツ指導員専門科目を免除されます。
③財団法人日本体育協会「スポーツリーダー」の資格保有者は、スポーツ指導員共通科目を免除されます。

スポーツ指導員資格について

スポーツ指導員は、**専門科目40時間**と**共通科目35時間**の講習を受け、合格しなければ資格を取得できませんが、上記”15.その他②③”の様
に別の資格を取ることによって、受講が免除される場合があります。
本講習会に参加し、テストに合格された方は、公認普及員資格保持期間中（3年）専門科目が免除になりますので、共通科目を受講するか、スポーツリーダーの資格を取り共通科目の免除を受けるかどちらかの方法でスポーツ指導員の資格を取ることができます。共通科目及び、スポーツリーダーの資料は各自日本体育協会から取り寄せてください。
制度については、日本体育協会ホームページに詳細が掲載されています。

スポーツリーダー・指導員共通科目についてのお問合せは下記まで

財団法人日本体育協会 スポーツ指導者育成部 指導者育成課 電話03-3481-2226

<http://www.japan-sports.or.jp> 資料の取り寄せ方はこちらに掲載してあります。

—個人情報について—

講習会に参加される皆様の個人情報を保護することは、当協会活動の基本であるとともに社会的責務であると考え、法令並びに当協会の定める個人情報保護方針に従い皆様の個人情報の保護に努めます。

○個人情報の利用目的

申込に関わる個人情報は、各都県テニス協会、関東テニス協会で管理し、本講習会に関する問い合わせ又は必要となる連絡事項の伝達に利用いたします。

上記の目的以外には利用いたしません。

キ リ ト リ

平成21年度財)日本テニス協会公認普及員認定講習会申込書

ふりがな			性別 (○をつけてください)	男	女
氏名			生年月日	年	月 日
現住所	〒 —		☎		
所属団体名	団体名 _____ 上記の団体は _____ 都道府県テニス協会に加盟している団体です。 (↑○をつけてください) (都道府県テニス協会に加盟していない団体は認めません。また、所属団体が無い方は受講できません。)				
所属団体住所					
自己査定レイト数					
昼間連絡先電話	携帯				

ITN	ITN比較	各国のレイティング	全般的な競技レベル	サーブ	リターン	ベースラインゲーム	アプローチ/ネットプレイ	ネットプレーヤーをパスする
1	エリート		<ul style="list-style-type: none"> ATP/WTAランキングの保持者、または可能性のある者 国際水準のトーナメントに参加し、主たる収入がトーナメントの賞金であるワールドクラスのプレーヤー 大規模なプロトーナメントの経験がある 					
2			<ul style="list-style-type: none"> 相手の弱点を分析し、見抜くことができる 戦略とプレースタイルを変化させ、プレッシャーの在る状況で自信を持ったショットが打てる。 通常、その国の上位ランキング者 	<ul style="list-style-type: none"> 1stと2ndサーブがプレッシャーのある状況で打て、いつでも攻撃的に打てる。 	<ul style="list-style-type: none"> フォア、バック両サイドの予測力がついている。 相手の準備動作、トス、バック・スイング、身体の位置から手がかりをつかめる。 	<ul style="list-style-type: none"> プレッシャーのある状況で自身のあるショットが打てる。 フォアハンド、バックハンドで攻撃、逆襲防御を効果的にできる。 あらゆる種類のショットをプレーできる。 	<ul style="list-style-type: none"> スライス、またはドライブのアプローチができる。 ネットでの予測がよく、コートセンスがよい。 効果的にアングルを使い、あるいは深くプレーできる。 攻撃的なボレーができる。 スマッシュは、必ずウイナーである。 バックハンドオーバーヘッドスマッシュが強力。 	<ul style="list-style-type: none"> 両サイド、そしてサーブのリターンでその場に応じて、上手くパスする。 2ショット・パッシング・コンビネーションを効果的に使える。
3	上級者		<ul style="list-style-type: none"> 優れたショットの予測と優れたショットを有し、安定性、あるいはゲームの基本となる特質を持っている。 プレーヤーは、'試合巧者'、つまり、パーセンテージテニスをし、サーブ・リターンエースを必要ときに打て、あるいは、ショートボールでサーブ・リターンのエラーを引き出せる。 	<ul style="list-style-type: none"> サーブは、相手の弱点に打たれ、あるいは、攻撃的な状況に展開するために、効果的に打たれる。 信頼できるサーブの種類を持つ。 十分な深さ、スピン、そしてプレースメントで弱いリターンを攻め、あるいは、次のショットを組み立てるための2ndサーブを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 攻撃的そして、オフ・ベースなサーブ・リターンを、コントロールでき、深く、スピンを混ぜて打てる。 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンド・ストロークは、コントロール、深さ、スピンを伴い、強力。 攻撃的な状況を作り出すためにフォアハンド・ストロークを使う。 安定した攻撃ショットとしてバックハンド・ストロークを使う。 ほとんどのショットが十分な深さと、方向を持つ。 タッチショットを習得している。 スピンの種類がある。 	<ul style="list-style-type: none"> アプローチショットは、ベースと高い有効性をもって放たれる。 ほとんどのボレーは、深さとベースと方向性を持って打球される。 深い、難しいボレーをプレーできる。 チャンスがあれば、ボレーは、ウイナーとして打球される。 スマッシュは、どこからでも打てる。 安定性のあるミッドコートボレーを打球できる。 	<ul style="list-style-type: none"> パッシング・ショットが安定し、ベースと高い有効性を持って、パッシング・ショットを打てる。 攻撃的なロブが打てる。
4			<ul style="list-style-type: none"> 安定したプレーで、効果的に加速、スピンをかけ、ベース配分ができる。 優れた予測、正しいフットワークができ、弱点をよく、カバーできる。 ショットの深さをコントロールでき、相手に応じゲーム・プランを変化させれる。 難しいショットに対して、不確かであるが、1stサーブのパワーと正確性と2ndサーブのコースを打ち分けれる。 ダブルスにおいて、攻撃的なプレーができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 攻撃的なサーブを持ち、ダブル・フォールが少ない。 特に1stサーブのとき、攻撃的な組み立てをするために、パワーとスピン・サーブを効果的に使える。 2ndサーブがよい位置に深く打つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 頻繁に攻撃的なリターンができる。 ダブルスにおいて、普通にベース変えることができる。 チップとドライブができ、チップとチャージができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 非常に安定した(自信ある)フォアハンドストロークを持つ。 スピードとスピンを効果的に使う。 深さのコントロールはあるが、あわてたり、プレッシャーがかかると、オーバーヒットする。 中程度のショットでは攻撃的、バックハンドは、方向と深さをコントロールできるが、プレッシャーを受けると崩れる。 かなりスライスができる。 	<ul style="list-style-type: none"> アプローチショットは、深く、コントロールされ、打球される。 一連の混じったボレーを扱える。 バックハンドボレーで、深さがあり、方向のコントロールが良い。 ポイントを決めるためにボレーとスマッシュを安定して打球できる。 タッチショットを習得し、フットワークに優れる。だが、最も一般的なエラーは、オーバー・ヒッティング。 	<ul style="list-style-type: none"> 防御的、そして攻撃的なロブを打てる。 かなり高い確率でネットプレーヤーをパスできる。
5			<ul style="list-style-type: none"> 優れた安定性(確かなグラウンド・ストローク)、普通のショットでフォアハンド、バックハンド両サイドの方向と距離のコントロールができるが、ラリーは、我慢できなくてミスする。 ロブ、スマッシュ、アプローチショット、ボレーが使え、時々、成功する。 コートカバリングを習得中で経験をつみ、戦術に注意を払うが、まだ優れたパーセンテージテニスをプレーできない。 時々、サーブのとき、サーブ・リターンのエラーを引き出せる。 ダブルスのチームワークが理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1stと2ndサーブのプレースメントがよい。 1stサーブが、しばしばパワーである。 スピンを時折、使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 信頼できるサーブ・リターンができる。 シングルで、深いリターン、ダブルスでいろいろなターンができる。 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンド・ストロークは、安定し、中程度のショットは深さとコントロールできるが、プレッシャーのあるとき、コースの配分ができない。 バックハンド・ストロークは、中程度のスピードで安定して、ボールの方向性がいい。 スピンを習得し、トップスピンとスライス両方を打てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ネットへ攻撃的なショットで前進する。 フォアハンド・ボレーの深さとコントロールがある。 バックハンド・ボレーの方向はいいが、一般的に深さを欠く。 両サイドのワイドのボレーと低いボレーを打球できるように習得中。 簡単なスマッシュを処理できる。 ダブルスのボレーができる。 ポイントを決め始める。 相手の弱点に打球する。 	<ul style="list-style-type: none"> 難しいショットに対し、防御的なロブを打ち、攻撃的なポイントの組み立てを行う。
6	中級者		<ul style="list-style-type: none"> 普通のショットの方向コントロールの安定性を持った、改良されたストロークを習得中だが深さと、変化がまだコントロールできない。 コートカバーが上達しているが、前に出る時、まだためらいがある。 ダブルスのチームワークを習得中。 	<ul style="list-style-type: none"> コントロール・サーブと、しばしばパワーサーブを開始。 スピンを習得中。 	<ul style="list-style-type: none"> 中程度のベースで方向性のコントロールのある安定したサーブ・リターンができる。 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンド・ストロークは、極めて安定、中程度のショットで変化をつけ、方向性良く、スピンをプレーできる。 バックハンドは、中程度のショットで方向のコントロールをもって打球されるが、高く、そしてハードショットに対して、難があり、防御的な返球となる。 バックハンド・ドライブかスライスの一方を極端に使う。 	<ul style="list-style-type: none"> アプローチショットを習得し、ネットに出るチャンスを探し始める。 より攻撃的なネットプレー。 フォアハンド・ボレーの方向性を持ち、バックハンドボレーのコントロールはできるが、攻撃的でないボレーでポイントを決め、ハーフボレーをプレーすることは難しい。 パッシングショットは少しカバーでき、かなりのフットワークができる。 届く範囲の安定したスマッシュ。 	<ul style="list-style-type: none"> 速いベースのショットで、かなり安定したロブを打てる。 基本的なパッシングショット能力を習得するが、バックハンドのパスが難しい。

ITN	ITN 比較	各国の レイティング	全般的な競技レベル	サーブ	リターン	ベースラインゲーム	アプローチ/ネットプレイ	ネットプレーヤーをパスする	
7	中級者		<ul style="list-style-type: none"> 普通のベースのショットにかなりの安定性をもつが、全てのショットをうまくプレーできず、方向性、深さ、パワーのコントロールを欠く。 シングルス試合は、ベースライン主体に行い、最も一般的なダブルスのフォーメーションは、一人が後衛、他の一人が前衛。 	<ul style="list-style-type: none"> リズムを習得中だが、パワー・サーブのとき、不安定。 2ndサーブは、1stサーブよりもかなり遅い。 	<ul style="list-style-type: none"> かなりの安定性を持って大部分がコート中央にリターンできる。 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンドは、方向性に集中し、かなりの安定性を持つが、深さのコントロールに乏しい。 バックハンドは、中程度のショットでかなり安定性し始め、多くのボールがコート中央に方向つけられる。 	<ul style="list-style-type: none"> プレーが要求するとき、ネットにアプローチするがそれを実行するために習得が必要。 安定したフォアハンドボレーを持つが、バックハンドボレーの安定性を欠く。 ローボレー、ワイドボレーが難しい。 時々、ポジションから外れ、大きすぎるスイングをしてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 中程度のショットでかなり安定したロブを打ち、ドライブの代わりにサービス・リターンにロブを使う。 	
8	レクリエーショナルプレーヤー		<ul style="list-style-type: none"> ボールがどこに飛ぶか判断することを学ぶが、コートカバリングは、まだかなり習熟する必要。 同じレベルのプレーヤーとプレーするとき、このプレーヤーは、かなりの安定性を持って、スローベースのショットラリーができる。 ダブルスのとき、初歩的なダブルスのポジションを維持できる。 	<ul style="list-style-type: none"> フルスイングを試みる。 1st、2ndサーブのベースの違いがほとんどない。 スローベースでボールをインプレーできる。 安定したトスが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> スローベースのサーブに対しリターンができる 短いフォロースルーが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンドのフォームが上達する。 プレーヤーは、中程度のベースのショットに対し、構えられ、準備される。 バックハンドグリップと準備の問題が、明らかで、プレーヤーは、バックハンド・ストロークよりもフォアハンド・ストロークを好んで選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に迫られたときだけ、ネットにアプローチする ある程度の自信を得るためにネット練習の時間が必要。 特にバックハンドサイドのネットでの自信がなく、バックハンドボレーをプレーするとき、ラケット面のフォアハンドサイドを使ってしまう。 スマッシュのコンタクトができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ロブを習得始めるが、コントロールに乏しい。 相手のバックサイドにだけロブを打つ傾向がある。 	
9	レクリエーショナルプレーヤー		<ul style="list-style-type: none"> コート上での経験が必要。 ストロークは、時々、成功するが、ストローク力の弱さは、明らか。 シングルス、ダブルスのプレーで、基本的ポジションは取れるが、さらによいポジションをとる必要があり、まだ、ベースラインでのプレーを好む。 このプレーヤーは、試合のプレーに没頭する。 基本的なルールとスコアのつけ方を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> サービスの動作が滑らかでなく、さらにコーディネーションが必要。 頻繁にダブルフォルトをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 無駄なエラーを減らすために安定したサービスが必要。 フォアハンド・ストロークでリターン、大部分を行おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> フォアハンドは、より完璧なスイングとより方向性への集中を必要とする。 バックハンドでプレーすることを避け、バックハンドサイドの技術的な問題(例、グリップ、スイング、コンタクト)を経験する。 	<ul style="list-style-type: none"> アプローチショットとネットプレーに慣れていない もっぱらフォアハンドボレーに専念し、スマッシュコンタクトに問題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めてロブを打つのが難しい。 パスに慣れていなく、相手の正面に向かってボールを打ってしまう。 	
10			<ul style="list-style-type: none"> このプレーヤーは、正式な大きさのコートで、ITF公認のボールを使用して、競技としてのプレー(サーブとリターン、ラリー)ができるようになる。 						
10.1			プレーヤーは、動き、コントロールしてラリーができる。	ITN10.1からITN10.3までのカテゴリーは、通常緩和された環境、つまり、小さいコートでやわらかいボールを使用する、あるいは適切な、プレーヤーに合ったラケットを使用する環境でプレーすることを含む。					
10.2	初心者	プレーヤーは、来たボールに対して、きちんと打球しながら、簡単なテニスのスキルを行えるが、動きと、コントロールしてラリーはまだできない。							
10.3		プレーヤーは、テニススキルの育成の初期段階で、単純なテニスのコーディネーション/エキササイズを初めて学ぶ。							